

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年3月16日

団体名 Foods for Children 岡崎

代表者 浦川友紀

構成員 30 人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。本会は、オーガニックの食と農を岡崎に広げ、また地元の有機農産物を学校給食へ取り入れてもらうよう行政に働きかけていくことで、子どもたちや全ての市民が心身ともに健康でいられること、美しく豊かな環境を残すこと、地元での経済循環を促すことを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
4/4	中金町	参加者	7人	茶畑を見学し、お茶の栽培方法や環境について学び、茶畑整備の農業体験を実施した
9/17	明大寺町	参加者	10人	『食の安全を守る人々』の上映会と化学物質過敏症についてのお話会を開催した
11/1~2	乙川河川敷	参加者	約70人	農林業祭に出店し、市内有機農家の紹介や有機農産物の販売を行い、有機給食についての説明も行った
12/22	滝町	私立かおる幼稚園	約50人	農大生の作ったお米を食べてもらい、有機米作りの1年を描いた紙芝居を上演した。

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

農業体験を通じて、農家の大変さと農の喜びを味わってもらうことができ、郷土愛を醸成することができた。また、実際にアレルギーや化学物質過敏症で苦しんでいる子どもたちや親がいることを知り、その声に耳を傾け、何を選択しどう生活することが望ましいのかを意見交換し、みなで考える機会を提供した。イベントや幼稚園訪問では、有機の農作物を通じて田畑に興味を持ってもらい、岡崎の有機農家を応援することは、岡崎の自然環境を保全することにつながることを、わたしたちや子どもたちの心身の健康も守ることにつながることを伝え、食と農のつながりをより意識してもらう機会を提供できた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

前年度よりも子どもたちや先生方や市民に直接触れ合う機会が増え、今まで有機にそれほど馴染みのなかった方々にも地域の食と農業を大切にする啓発活動を広げることができた。